

地下足袋山中考(N034)

< コロナ禍と日本再発見の旅 >

昨年の秋口、コロナ禍の間隙を縫って北アルプス後立山三座（爺ヶ岳～鹿島槍～五竜岳）を縦走した。向かったアクセス道路は1,000 km移動しても観光バスの対面は一台もなし。当然、観光客で賑わうはずのサービスエリアも道の駅も人の影が薄い。眠りについて越後・信州路が日本列島と重なった。主稜線の種池山荘・キレット小屋・五竜山荘は一連のコロナ対策はもとより宿泊は定員内完全予約制で、寝床は個別にビニールカーテンで間仕切り対応。従来の一畳2人寝スタイルをコロナは完全否定、宿泊費が多少割高でも定員制の山小屋が選択される時代を予感した●21世紀は、東日本大震災が誘発した津波と原子炉溶解の大惨事に始まり、熊本地震に続く列島縦断集中豪雨の傷が癒えぬ間に疫病コロナを呼込んできた。今から1300年前にも奈良の平城京に天然痘のパンデミックが襲い、全国民の三分の一が命を落としたといわれている。天変地異による災害・飢餓・疫病の類がすべて悪霊の仕業とされた奈良・平安時代、復興に当たった聖武天皇は、大仏建立による鎮護仏国土（仏によって疫病から守られる国）への祈りを国の礎としたが、人・物・金・情報が飛び交う21世紀の鬼門を閉ざすことができないグローバル社会では、新ワクチンに頼るしかないということである●一年越しのコロナ・パンデミックは全世界に1億4千万人の感染者と300万人を超える死者をもたらした、銃撃・爆撃戦がない第三次世界大戦ともいえる人々の生死が続いています。日本のコロナ感染者数約53万人、うち死亡者9,641人（4月19日現在）。現在、東京都と大阪府は「まん延防止法等重点措置」適用中だが、第4波のコロナ変異株の感染急増を受け、国に3回目の緊急事態宣言の要請を固めた。肝心の65歳以上ワクチン接種完了は年越しなるとの報道もあり、まだ出口が見えない一進一退の日々が続きます。桜前線到来に身も心も全開モードなのだが・・・、待ちわびるワクチン効果に期待しつつも、3密には充分ご注意あれ！ ●日本列島は、北は北海道から南の沖縄まで2,500 km、300万年前に始まったとする太平洋プレートの東西圧縮による隆起と幾多の火山活動に、海洋性気候がもたらす降雪多雨が加わり山国絶景列島は誕生したという。やがて高山から海に連なる3万本の川は、山懐に箱庭のような溪谷と温泉郷を従え、山と海の幸を醸成し多彩な食文化を育んだ。（NHK/BS 絶景列島ジオジャパン）こんな宝石を散りばめた千変万化に富む奇跡の国があるだろうか。と絶景列島ジオジャパンをエンドレスする不要不急の自宅軟禁（？）の合間に内陸線と残雪の森吉山をスナップする日々が彼岸過ぎから続く●新年度を迎えた観光産業生き残り戦略はいかがなものだろうか、とおもんばかりながら旅行会社や山旅グループのフィールド対応を始めている最中、「東京五輪」は海外一般客の受入れ断念を決定。しばらくは、インバウンド観光も海外旅行も見通し立たず、旅行エージェントは海外旅行を国内旅行に全面シフトの様相だ●ならばこの機に「もう一度、日本再発見の旅」に出かけようではないか。オゾンとフィトンチッド（樹木などが発散する殺菌力を持つ揮発性物質・森の香り）が包香する「ぐるっと森吉山」も「みちのくの名峰たち」も、まもなく春爛漫、山笑い心躍る季節を迎えます。コロナ禍の長いトンネルの先には、きっと山旅闊歩の日々が待っていると信じたい。（2021.4.19）